

文献情報							
表題・資料名							
Comparison of nutrient budgets between three forested mountain watersheds on granite bedrock							
部会	G3	文献ID	R1075	観測ID	S003	公表年	2001
著者名							
Kunimatsu et al.							
収録雑誌名							
Water Science and Technology							
巻号	44	ページ	129-140				
地点情報と流域情報							
都道府県	滋賀						
経度	N35°03'15"	緯度	E136°02'56"	標高(m)	158-225		
流域名	妙光寺山						
流域面積(ha)	1.77	平均勾配	18°	流路延長(km)			
主要樹種	アカマツ, 雑木(?)		林相コメント	温帯林			
地質情報	(粗粒)花崗岩		地質コメント				
年平均気温()				年平均雨量(mm/y)	1954		
時期と調査方法							
観測開始	1991年1月	観測終了	1992年12月	観測期間	2年		
採水頻度	週1回の定期採水						
採水方法	マニュアル						
流量観測頻度							
流量観測方法							
気象観測方法							
気象観測コメント							
降雨時調査							
調査の実施	x	採水方法					
降雨時調査回数							
降雨時調査の内容							
対象項目							
N		P		有機物	その他		
全窒素 TN		全リン TP		T-COD(Mn)		SS	
溶存態窒素 DN		溶存態リン DP		D-COD(Mn)			
無機態窒素 DIN		PO4-P		TOC			
硝酸性窒素				DOC			
硝酸性・亜硝酸性窒素							
アンモニア性窒素							
その他		その他		その他		その他	
流域へのインプット量(降雨等)							
窒素							
全窒素 TN	13.1	単位	kg/ha/yr	コメント			
溶存態窒素 DN	11.7	単位	kg/ha/yr	コメント			
無機態窒素 DIN		単位		コメント			
硝酸性窒素	3.72	単位	kg/ha/yr	コメント			
硝酸性・亜硝酸性窒素	0.03	単位	kg/ha/yr	コメント	NO2-N		
アンモニア性窒素	4.35	単位	kg/ha/yr	コメント			
その他		単位		コメント			
リン							
全リン TP	0.68	単位	kg/ha/yr	コメント			
溶存態リン DP	0.54	単位	kg/ha/yr	コメント			
リン酸態リン PO4-P	0.37	単位	kg/ha/yr	コメント			
その他		単位		コメント			
有機物							
T-COD (Mn)	43	単位	kg/ha/yr	コメント			
D-COD (Mn)	26	単位	kg/ha/yr	コメント			
TOC		単位		コメント			
DOC		単位		コメント			
その他		単位		コメント			
その他							
ss	51	単位	kg/ha/yr	コメント	なぜ収入にSSが含まれているのか不明。Sus...		
その他		単位		コメント			

原単位（年流出負荷量）

窒素					
全窒素 TN	8.37	単位	kg/ha/yr	コメント	
溶存態窒素 DN	6.57	単位	kg/ha/yr	コメント	
無機態窒素 DIN		単位		コメント	
硝酸性窒素	2.34	単位	kg/ha/yr	コメント	
硝酸性・亜硝酸性窒素	0.04	単位	kg/ha/yr	コメント	NO2-N
アンモニア性窒素	0.22	単位	kg/ha/yr	コメント	
その他		単位		コメント	
リン					
全リン TP	0.28	単位	kg/ha/yr	コメント	
溶存態リン DP	0.11	単位	kg/ha/yr	コメント	
リン酸態リン PO4-P	0.06	単位	kg/ha/yr	コメント	
その他	0.17	単位	kg/ha/yr	コメント	懸濁態リン
有機物					
T-COD (Mn)	72	単位	kg/ha/yr	コメント	
D-COD (Mn)	57	単位	kg/ha/yr	コメント	
TOC		単位		コメント	
DOC		単位		コメント	
その他		単位		コメント	
その他					
ss	286	単位	kg/ha/yr	コメント	
その他		単位		コメント	

負荷算出方法等

負荷算出方法	
区間代表法(濃度だけでなく流量も瞬時値を区間の代表値としている)	
コメント	
水年の設定が任意のように思える	

日本水環境学会 (2013) 非特定汚染源からの流出負荷量の推計手法に関する研究
 注：データを引用する際には必ず元文献をご確認ください。